

白石区

概況

白石区は市の東部に位置し、北側は江別市と、南は東北通を境に豊平区及び清田区と接しています。また、東は厚別区、西は豊平川を境に中央区と東区に隣り合っています。

地下鉄沿線を中心に集合住宅が多く、1世帯あたりの居住人数は1.95人と中央区、豊平区に次いで少なくなっています。

区内には、JR線、地下鉄東西線、国道12号、道央自動車道などの各種交通網が整備されており、札幌市の交通の要衝となっています。また平成23年1月には、「JR白石駅自由通路」が供用開始されました。改札口のなかった駅北側の利用者の利便性が向上したほか、南北の地区の鉄道による分断が解消されました。

また、区の東部には、流通センターが広がっており、道内の物流拠点となっているほか、「札幌コンベンションセンター」や「JICA北海道国際センター（札幌）」などの施設があり、札幌市の集客交流や国際交流の拠点としての役割も担っています。

なお、平成28年11月には、白石区役所、白石保健センター、白石区保育・子育て支援センター（ちあふる）、白石区民センター、（仮称）絵本図書館からなる白石区複合庁舎がオープンする予定です。

歴史

明治4年、旧仙台藩白石城主、片倉小十郎（白石城は現在の宮城県白石市に位置）の家臣が望月寒（現在の白石区中央付近）に移住しました。

彼らは、うっそうとした原始林が石狩河畔まで続くこの地で、厳しい寒さの中、現在の白石公園付近から白石神社の間をわずか半月足らずで切り開き、47戸の小屋を完成させました。開拓使の岩村判官は、この働きぶりに感心し、この地に彼らの郷里の名をとって「白石村」と命名しました。

その後、白石村が札幌市と合併（昭和25年7月1日）し、昭和47年4月1日に札幌市が政令指定都市に移行したことに伴い、旧白石村全域が白石区となりました。以後、著しい人口増加のため平成元年11月6日に厚別川を境に分区し、西側が現在の白石区となっています。

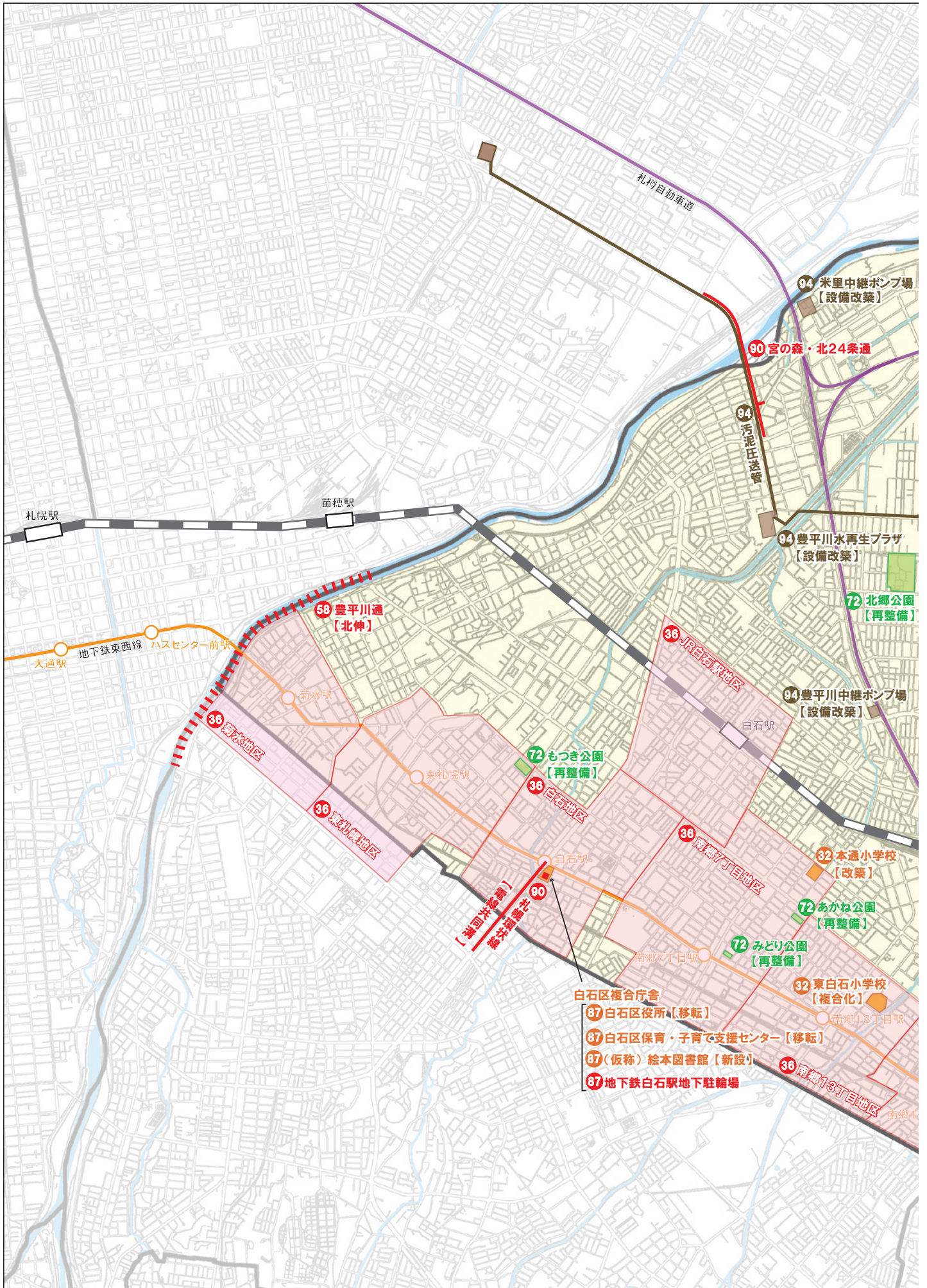
まちづくりの取組

白石区では、区民の皆さんが「白石区に住んで良かった」と思える魅力あるまちづくりを進めています。これを実現するため、まずは「元気で活力のあるまち」を目指して、企業や市民によるまちづくり活動を支援するための取組や、まちの魅力向上のための取組を実施しています。また、「安心して暮らせるまち」を目指して、地域防災力の向上、子育て支援の充実、高齢者・要保護児童等の相談・支援体制の強化に取り組むほか、「快適で憩いのあるまち」を目指して、区民の健康づくりの推進や白石こころ一ドを活用したタイルアート事業の実施など、地域の魅力ある財産を活かしたまちづくりを進めて「地域力の向上」を目指しています。

そのほか、住民主体の活動を行っている「白石区ふるさと会」が主催する「白石区ふるさとまつり」の支援や白石区複合庁舎における区民協働スペースの運営の支援を行うなど、区民のふれあいの場を積極的に創出しています。

平成20年に公募で誕生した白石区の Mascot キャラクター「しろっぴー」は、多くの地域活動団体から企業まで幅広く活用され、区民に親しまれています。

事業名	事業内容・整備内容	ページ
アイヌ関係施設リフレッシュ事業	設備の改修（共同利用館）	28
新型児童会館整備事業	学校改築に合わせ、新型児童会館を整備（1校）	30
学校施設改築事業	老朽化した学校施設の改築（本通小、東白石小）	32
安全・安心な道路環境の整備事業	歩道のバリアフリー化（菊水地区ほか6地区）	36
小学校併設地域交流施設設置事業	小学校併設地域交流施設の設置（1校）	37
町内会活動活性化支援事業	地域活動の中核を担う町内会活動をより活性化することを目的に、町内会活動への意識啓発、町内会自体の活動の支援などを実施し、町内会活動の活性化及び底上げを図ります。	39
白石区複合庁舎にぎわい協働プロジェクト事業	白石区複合庁舎のイベントスペースを活用して、区民や関係団体との協働により、にぎわいを創出するイベントを開催するとともに、まちづくり団体のネットワークづくりを支援します。	41
白石こころードタイルアート事業	白石こころードトンネル内に、地域住民の手により明るく夢のあるタイルアート（壁画）を描くことで、トンネルを快適な憩いのある芸術空間に変え、地域の魅力を更に高めるとともに地域住民間の連帯強化を図ります。	41
豊平川通南北延伸検討調査事業	豊平川通北伸の検討	58
大谷地流通業務団地高度化検討事業	大谷地流通業務団地の高度化を検討	58
地域と創る公園機能再編・再整備事業	身近な公園の再整備 （地区公園 1カ所、近隣公園 1カ所、街区公園 2カ所）	72
白石清掃工場高効率機能維持整備事業	発電能力を維持するための整備（白石清掃工場）	79
東米里西処理場造成事業	貯留施設造成に向けた載荷盛土 ²⁹ 工事（東米里西処理場）	79
白石区複合庁舎等整備事業	・白石区役所、保健センター、区民センター、区保育・子育て支援センター、（仮称）絵本図書館を白石区複合庁舎として整備 ・民間機能の導入 ・駐輪場の整備（地下鉄白石駅駐輪場）	87
骨格道路網等整備事業	宮の森・北24条通ほか2路線、電線共同溝（札幌環状線）の整備	90
公園造成整備事業	公園・緑地の整備（厚別川緑地）	91
下水道施設再構築事業	下水道施設の設備改築（豊平川水再生プラザほか2施設）	94
下水道施設災害対策事業	汚泥圧送管（代替ルート）の整備	94
緊急貯水槽・緊急遮断弁整備事業	緊急貯水槽の新設（東川下公園内）	95





白石区

概況

項目	全市	白石区	全市に占める割合(%)	調査時点
----	----	-----	-------------	------

区域面積

● 行政区域面積 (km ²)	1,121.26	34.47	3.1	H26.10.1
● 市街化区域面積 (km ²)	250.17	24.76	9.9	H26.10.1

人口・世帯数

● 人口 (人)	1,942,648	209,064	10.8	H26.10.1
● 市街化区域内人口密度 (人/ha)	75.5	81.6	-	H22.10.1
● 世帯数 (世帯)	932,974	106,420	11.4	H26.10.1
● 住宅に住む一般世帯数 (世帯)	879,156	99,920	11.4	H22.10.1
持家 (世帯)	425,249	37,956	8.9	H22.10.1
民営の借家 (世帯)	376,805	54,350	14.4	H22.10.1
公営・都市再生機構・公社の借家 (世帯)	38,314	2,919	7.6	H22.10.1
その他 (世帯)	38,788	4,695	12.1	H22.10.1

就業者数・事業所数

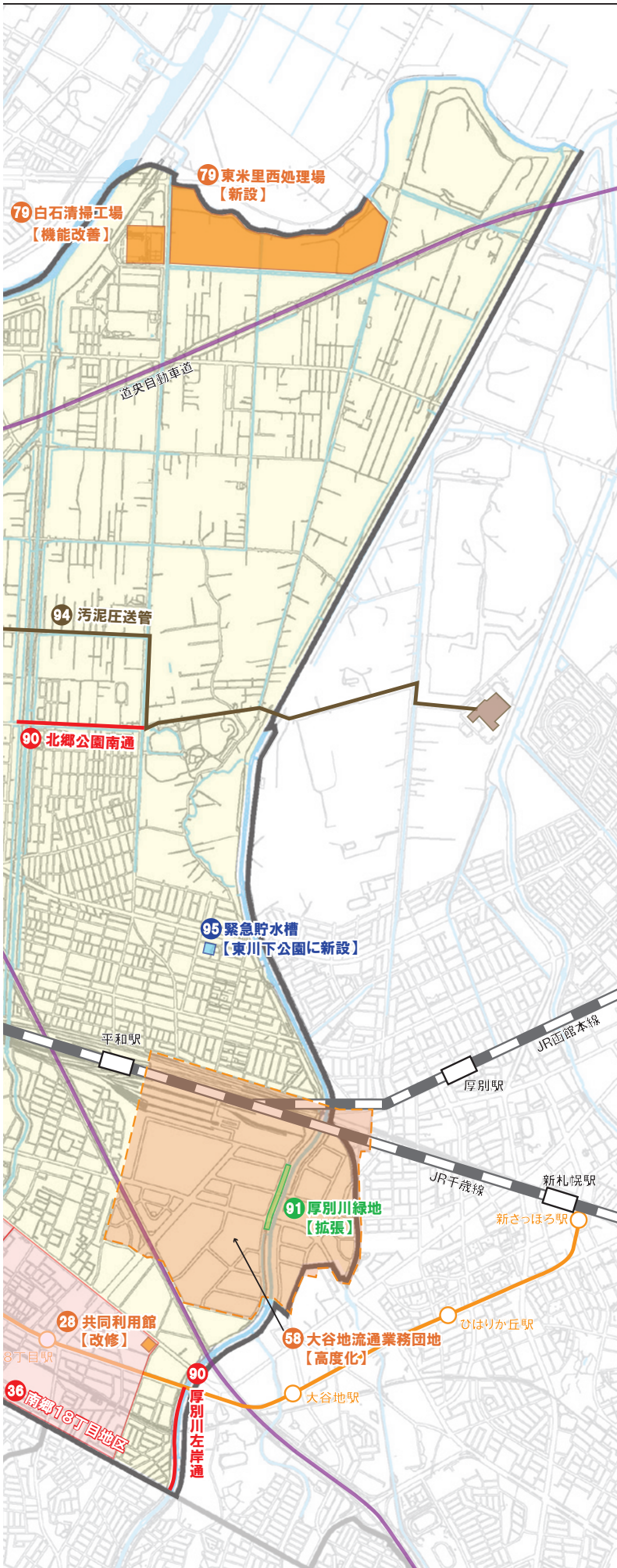
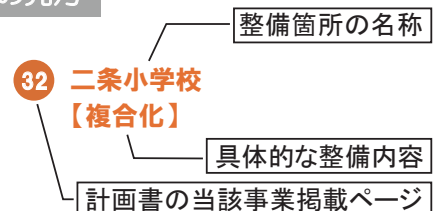
● 就業者数 (人)	861,037	97,044	11.3	H22.10.1
第1次産業 (人)	3,534	325	9.2	H22.10.1
第2次産業 (人)	118,904	15,381	12.9	H22.10.1
第3次産業 (人)	658,853	70,096	10.6	H22.10.1
分類不能 (人)	79,746	11,242	14.1	H22.10.1
● 事業所数	76,604	8,276	10.8	H26.7.1
第1次産業	105	7	6.7	H26.7.1
第2次産業	9,321	1,432	15.4	H26.7.1
第3次産業	67,178	6,837	10.2	H26.7.1

地図の凡例

- 道路(施設)整備
- 歩道バリアフリー整備
- 河川整備
- 下水道(施設)整備
- 公園整備
- 水道(施設)整備
- 施設整備

※点線は整備に関する検討事業です
検討の結果整備箇所は変更する可能性があります

地図の見方



厚別区

第2章

概況

厚別区は、市の東部に位置し、北東は江別市と、南東は北広島市と接しています。また、南は清田区と、西は厚別川、一部三里川を区境に白石区と隣り合い、面積は 24.38 平方キロメートルと 10 区の中で最小です。

地形は JR 函館本線を境に、北の平野部、南の丘陵部に大きく分かれ、丘陵部は厚別川、野津幌川、三里川、小野津幌川が流れ、全体にゆるやかな起伏となっています。

街並みは JR 新札幌駅、地下鉄新さっぽろ駅付近を中心とした商業地区と周辺の住宅地からなっていますが、野幌森林公園など豊かな自然環境にも恵まれています。

歴史

明治 16 年に長野県（信濃）の出身者が現在の JR 厚別駅付近に移り住み、今でも信濃神社や信濃小学校に郷里の名をとどめています。

その後、森林と湿地帯が切り開かれ、畑や水田、牧場が広がり、農業地帯となりました。なお、厚別はアイヌ語で「ハシ・ペツ」ーかん木の中を流れる川ーまたは「アツ・ペツ」ーオヒョウダモのある川ーに漢字をあてたものと言われています。

昭和 25 年、厚別地域を含む白石村は札幌市と合併し、さらに昭和 47 年 4 月 1 日、札幌市の政令指定都市移行に伴い白石区となりました。その後、地下鉄東西線開通、厚別副都心開発計画の進展で人口が著しく増加したため、よりきめの細かい行政サービスを目指し、平成元年 11 月 6 日に白石区から分区して厚別区が誕生しました。

まちづくりの取組

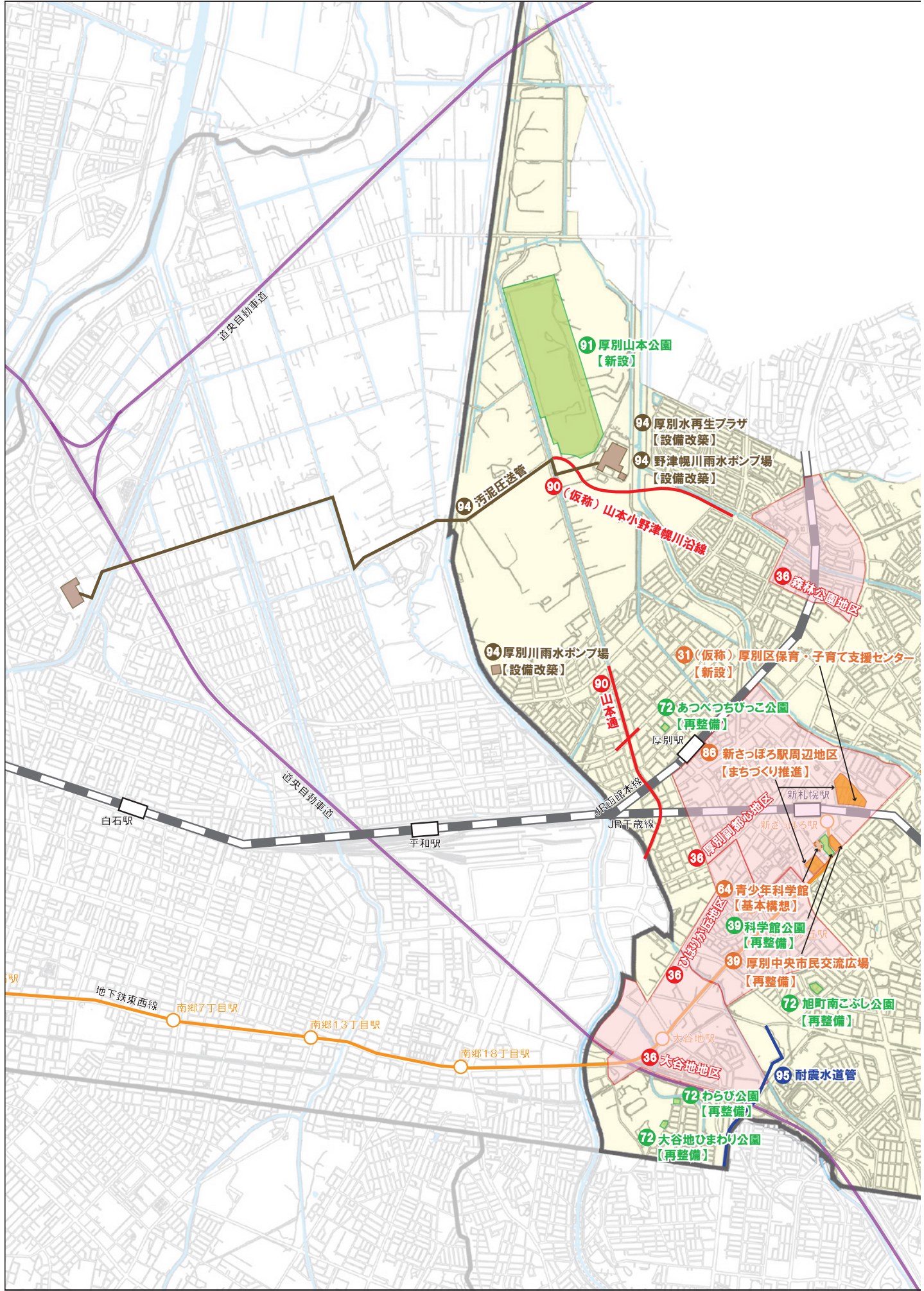
より多くの区民がまちづくりに関心を持って、地域の課題に積極的に取り組める機会を設けるため、「あつべつ区民協議会⁴⁴」への支援を行い、区民を主役としたまちづくり活動を推進しています。

平成 26 年度に策定した「新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画」においては、文化・教育・商業を中心とした多様な機能の集積・増進を図ることによって、当該地区の活性化により創出される新しい魅力を発信し、区民の拠点づくりを目指すこととしています。

厚別区では、「厚別区民まつり」など多くのイベントの開催を支援するとともに、新たなイベントを誘致するなど、地域交流拠点にふさわしい新さっぽろ駅周辺地区のにぎわい創出に努めています。

また、高齢社会における課題解決のための地域福祉力の向上や、子育て支援事業、区民の健康増進に関する事業など、様々な事業に取り組んでいます。

事業名	事業内容・整備内容	ページ
地域における健康づくり活動 推進事業	地域特性にあった気軽に取り組める健康づくりの総合的メニューの提示により、地域の健康づくり活動を促進します。	22
高齢社会に向けた地域活動の担 い手創出事業	大学を活用して種々の社会的学習プログラムに関する講座を高齢者に提供し、高齢者に対する地域活動への意識付けとともに、その担い手創出や地域課題の解決のための相談役の育成などにつなげていきます。	27
区保育・子育て支援センター 整備事業(厚別区・西区)	(仮称) 厚別区保育・子育て支援センターの新規整備	31
安全・安心な道路環境の整備事業	歩道のバリアフリー化 (大谷地地区ほか3地区)	36
厚別中央市民交流広場・科学館 公園再整備事業	老朽化した厚別中央市民交流広場と科学館公園について、市営住宅下野幌団地の余剰地などを核としたまちづくり推進事業と連携して再整備し、地域のにぎわいを創出します。	39
新さっぽろ駅周辺にぎわい推進事業	新さっぽろ駅周辺のにぎわいを創出することで厚別区全体の活性化につなげるとともに、まちづくり推進事業の充実や「新さっぽろ駅周辺地区まちづくり計画」における近隣エリアとの連動を図るために、区民にとって魅力的で、かつ、地域コミュニティの核になる広場、公園として再整備を行います。	39
青少年科学館を活用した理科教 育推進事業	展示物の更新など科学館機能についての基本構想を策定	64
地域と創る公園機能再編・再整備事業	身近な公園の再整備 (街区公園 5カ所)	72
もみじ台地域再構築推進事業	もみじ台地域のまちづくりの方向性を検討	81
新さっぽろ駅周辺地区 まちづくり推進事業	市営住宅余剰地の売却による新さっぽろ駅周辺地区のまちづくり推進	86
骨格道路網等整備事業	山本通ほか1路線	90
公園造成整備事業	公園・緑地の整備 (厚別山本公園)	91
下水道施設再構築事業	下水道施設の設備改築 (厚別水再生プラザほか2施設)	94
下水道施設災害対策事業	汚泥圧送管 (代替ルート) の整備	94
配水管耐震化事業	配水幹線の連続耐震化 (東北通幹線)	95





厚別区

概況

項目	全市	厚別区	全市に占める割合 (%)	調査時点
----	----	-----	--------------	------

区域面積

● 行政区域面積 (km ²)	1,121.26	24.38	2.2	H26.10.1
● 市街化区域面積 (km ²)	250.17	18.28	7.3	H26.10.1

人口・世帯数

● 人口 (人)	1,942,648	128,133	6.6	H26.10.1
● 市街化区域内人口密度 (人/ha)	75.5	69.5	-	H22.10.1
● 世帯数 (世帯)	932,974	57,080	6.1	H26.10.1
● 住宅に住む一般世帯数 (世帯)	879,156	53,789	6.1	H22.10.1
持家 (世帯)	425,249	28,546	6.7	H22.10.1
民営の借家 (世帯)	376,805	14,144	3.8	H22.10.1
公営・都市再生機構・ 公社の借家 (世帯)	38,314	9,483	24.8	H22.10.1
その他 (世帯)	38,788	1,616	4.2	H22.10.1

就業者数・事業所数

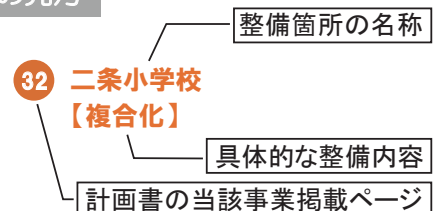
● 就業者数 (人)	861,037	55,837	6.5	H22.10.1
第1次産業 (人)	3,534	253	7.2	H22.10.1
第2次産業 (人)	118,904	7,317	6.2	H22.10.1
第3次産業 (人)	658,853	44,439	6.7	H22.10.1
分類不能 (人)	79,746	3,828	4.8	H22.10.1
● 事業所数	76,604	3,114	4.1	H26.7.1
第1次産業	105	4	3.8	H26.7.1
第2次産業	9,321	280	3.0	H26.7.1
第3次産業	67,178	2,830	4.2	H26.7.1

地図の凡例

- 道路(施設)整備
- 歩道バリアフリー整備
- 河川整備
- 下水道(施設)整備
- 公園整備
- 水道(施設)整備
- 施設整備

※点線は整備に関する検討事業です
 検討の結果整備箇所は変更する可能性があります

地図の見方



豊平区

概況

豊平区は、札幌市の南東部に位置し、北は東北通で白石区、西は豊平川を隔てて中央区、南西部は南区、東は清田区と接しています。

南部の緑豊かな丘陵地と山林、望月寒川、月寒川など、豊かな自然に恵まれています。また、「札幌ドーム」や「羊ヶ丘展望台」などの施設があり、大勢の観客や観光客が訪れています。

歴史

豊平区の歴史は、安政4年に札幌越新道の開削が始まり、そのころ豊平川の右岸に渡し守として志村鉄一が定住したことで幕を開けました。明治4年に現在の岩手県などからの移民が平岸や月寒に入植し、開拓が始まりました。41年に町制が施行され豊平町となりました。

農業や牧畜が盛んで、特にリンゴは明治時代から平岸を中心に栽培され、「平岸リンゴ」は昭和初期には海外に輸出されるほどでした。また、明治6年に開通した現在の国道36号に沿って商店や工場が立ち並び、交通の要衝と呼ぶにふさわしいにぎわいを見せました。

昭和36年に札幌市と合併し、47年の区制施行により豊平区が誕生しました。旧豊平町の地域は豊平区と南区になりました。その後、著しい人口増加などのため、平成9年に東部が清田区として分区しました。

かつてのリンゴ園は、都市化とともに消えていき、今では環状通のリンゴ並木にその面影を残すのみとなっています。

まちづくりの取組

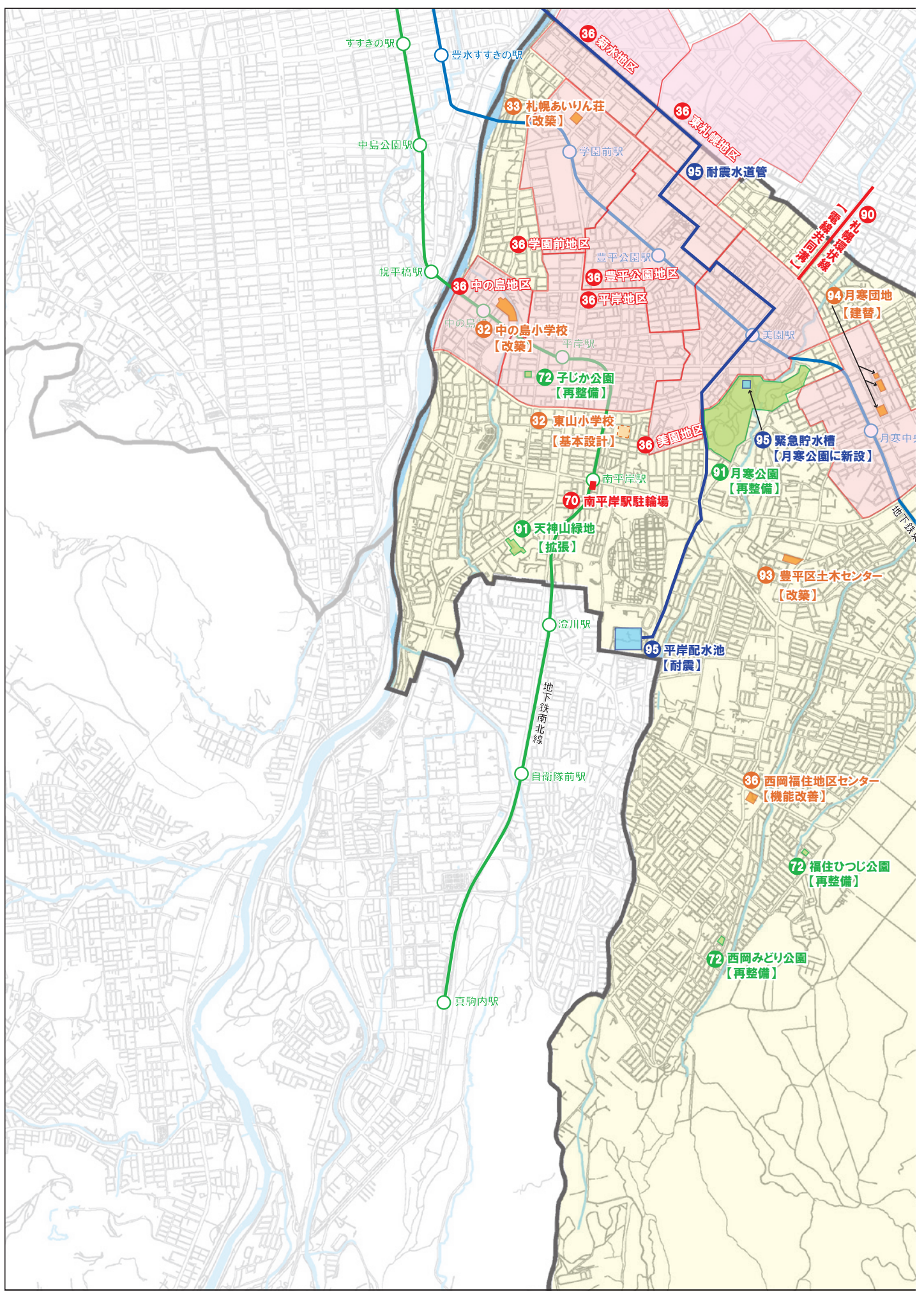
豊平区では、「豊平区実施プラン」に基づき、「区民が主役のまちづくり」を進めています。

花を植えて街をきれいに飾る「とよひら HANA-LAND 事業」や、区にゆかりの深いリンゴの活用、カーリング場での区民向け体験会や大会の実施、札幌ドームでのスポーツイベントの開催など、地域や学校、プロスポーツチームなどと連携しながら、豊かな自然や恵まれた施設環境といった区の個性を生かした事業を展開しています。

また、毎日を安全・安心で快適に暮らせるよう、幅広い世代に対して健康づくりや防災に関する知識の普及啓発を行うことのほか、地域交流や、子ども・学生のまちづくり活動への参加促進などにも力を入れています。

なお、これらの事業はイベントカレンダー「とよひら元気大作戦!!」にまとめて紹介し、広く参加を呼び掛けるとともに、豊平区の「元気」な様子を発信し、活気あるまちづくりを推進しています。区のキャラクター「こりん」と「めーたん」も、区や地域が行う各種事業に登場し、区のPRに活躍しています。

事業名	事業内容・整備内容	ページ
新型児童会館整備事業	学校改築に合わせ、新型児童会館を整備（2校）	30
学校施設改築事業	老朽化した学校施設の改築 （月寒東小、中の島小、羊丘小、東山小）	32
母子生活支援施設改築費補助事業	老朽化した札幌あいりん荘の改築補助	33
安全・安心な道路環境の整備事業	歩道のバリアフリー化（学園前地区ほか7地区）	36
地区センターバリアフリー化事業	エレベーターの設置（西岡福住地区センター）	36
小学校併設地域交流施設設置事業	小学校併設地域交流施設の設置（2校） まちづくりセンターのリニューアル改修（東月寒）	37
とよひらスポーツ応援プロジェクト事業	札幌ドームを始め多数の国際規模のスポーツ施設があり、プロスポーツチームの本拠地でもある区の特長を最大限に活用し、区民がスポーツに親しむきっかけとなる場を提供します。	39
TOYOHIRA「おもてなし特区」推進事業	冬季オリンピック・パラリンピックの招致を見据え、地域の気運の醸成と活性化を図るため、豊平区を来訪する方々（「来豊者」）に対し、地域・企業・商店街などと連携して様々な「おもてなし」の取組を展開します。	41
とよひらまちづくりパートナー事業	地域のまちづくりに参加・協力する意向のある企業・学校・各種団体を「まちづくりパートナー」として登録し、様々な地域の活動につなげていくことを通じて、多様な担い手によるまちづくりを進めるための機運醸成を図ります。	41
歩行者と自転車の共存する空間の創出事業	駐輪場の整備（福住駅駐輪場、南平岸駅駐輪場）	70
地域と創る公園機能再編・再整備事業	身近な公園の再整備（街区公園 4カ所）	72
骨格道路網等整備事業	電線共同溝（札幌環状線）の整備	90
公園造成整備事業	公園・緑地の整備（天神山緑地）、大規模公園の再整備（月寒公園）	91
豊平区土木センター改築事業	豊平区土木センターの改築	93
市営住宅維持更新事業	月寒団地の建て替え	94
水道施設耐震化事業	平岸配水池の耐震化	95
配水管耐震化事業	配水幹線の連続耐震化（平岸第1幹線）	95
緊急貯水槽・緊急遮断弁整備事業	緊急貯水槽の新設（月寒公園内）	95





豊平区

概況

項目	全市	豊平区	全市に占める割合 (%)	調査時点
----	----	-----	--------------	------

区域面積

● 行政区域面積 (km ²)	1,121.26	46.23	4.1	H26.10.1
● 市街化区域面積 (km ²)	250.17	22.07	8.8	H26.10.1

人口・世帯数

● 人口 (人)	1,942,648	218,136	11.2	H26.10.1
● 市街化区域内人口密度 (人/ha)	75.5	95.7	-	H22.10.1
● 世帯数 (世帯)	932,974	113,551	12.2	H26.10.1
● 住宅に住む一般世帯数 (世帯)	879,156	106,674	12.1	H22.10.1
持家 (世帯)	425,249	43,614	10.3	H22.10.1
民営の借家 (世帯)	376,805	55,531	14.7	H22.10.1
公営・都市再生機構・公社の借家 (世帯)	38,314	3,335	8.7	H22.10.1
その他 (世帯)	38,788	4,194	10.8	H22.10.1

就業者数・事業所数

● 就業者数 (人)	861,037	98,387	11.4	H22.10.1
第1次産業 (人)	3,534	249	7.0	H22.10.1
第2次産業 (人)	118,904	11,051	9.3	H22.10.1
第3次産業 (人)	658,853	76,916	11.7	H22.10.1
分類不能 (人)	79,746	10,171	12.8	H22.10.1
● 事業所数	76,604	6,476	8.5	H26.7.1
第1次産業	105	8	7.6	H26.7.1
第2次産業	9,321	687	7.4	H26.7.1
第3次産業	67,178	5,781	8.6	H26.7.1

地図の凡例

- 道路(施設)整備
- 歩道バリアフリー整備
- 河川整備
- 下水道(施設)整備
- 公園整備
- 水道(施設)整備
- 施設整備

※点線は整備に関する検討事業です
 検討の結果整備箇所は変更する可能性があります

地図の見方

